

「プログラミング教育」で注目のアイルランド発祥のプログラミングクラブ
子どものためのプログラミングクラブ「CoderDojo光」が1周年!
次回は8月19日(日)に開催!

CoderDojo光(Champion(チャンピオン=主宰者) 石川博之)は、2017年8月5日(土)に初回を開催して以降毎月1回以上の定期開催を行い、1周年を迎えました。1周年を記念した次回のCoderDojo光の開催を2018年8月19日(日)に、午前と午後の2部構成にて開催いたします。

CoderDojoの取り組みは、国内各地の実際の教育現場でも注目されており、「プログラミング教育」が取り沙汰される中、いわゆる学習塾とは異なる形でのアプローチにより注目されているCoderDojoの取り組みについて是非取材くださいますようお願い申し上げます。

なお、午後の部の方が専門的な内容やバラエティに富んだ子ども達が参加することが多くなっていますので、よろしければ午後の回にお越し頂くと、子ども達が互いに制作しあう風景をご覧いただけるものと思います。

■第16回 & 第17回 CoderDojo光 開催概要

- **開催日時** 2018年8月19日(日) 10:30~12:30(受付開始 10:15、Scratch限定)
14:00~16:30(受付開始 13:45、限定なし)
- **場 所** 山口県光市浅江1-14-1 ホンダカーズ光東 光店 敷地内
コワーキングスペース「N LABO」(エヌラボ) <http://ncafe.hc-koto.jp/>
- **参加費** 無料 ※CoderDojo憲章に基づき参加者・保護者から一切の費用を取っていません
- **対応言語** Scratch(スクラッチ)、ScratchJr、Unity、Python、アプリ制作 等
- **参加者数** 光市近郊の小中学生 15名程度、メンター10名程度(8月12日現在)
- **問合せ先** CoderDojo光(TEL:0833-77-0212 Mail:info@coderdojo-hikari.com)
- **スケジュール** 【10:30~、14:00~】CoderDojoの説明、注意事項の案内
【10:40~、14:10~】制作時間
【12:00~、15:45~】発表時間(30分程度) ※是非ご覧ください
- **その他** 駐車場については N LABO横に専用駐車場(ホンダカーズ光東 光店裏)がありますがスペースに限りがあります。

【参考】過去の開催実績について

- **開催回数** 15回、毎月1回以上のペースで開催
- **参加者数** のべ135名(第15回までの累計) ※詳細資料は当日配布します

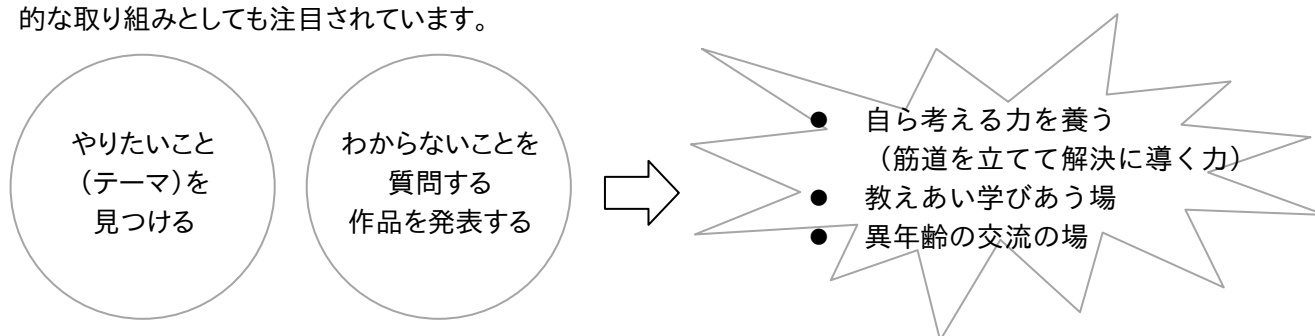
【リリースURLはこちら http://coderdojo-hikari.com/archives/20180813_1year.html】

■CoderDojoについて

CoderDojo (コーダー道場) は、2011 年にアイルランドで始まり、日本では 2012 年 4 月に東京で初めて開催されました。現在、世界で 85 カ国・1,600 の道場、日本でも約 150 の道場が開設されています。

活動の特徴として、子どもたちがそれぞれ作りたいゲームやアニメーションなどの作品やテーマを自ら見つけて設定し、制作の過程でツールの使い方や制作する際に詰まっている課題の解決方法を一緒に考えるなどの支援 (メンタリング) を行うことで、子どもたちが自由にプログラミング学習や制作ができることが最大の特徴となります。それと同時に、制作後に作品を発表することや、自ら考え学ぶことが主体であること、異年齢のクラブ (小中高生、大人が参加) によるプログラミングを通じた出会いの場所にもなっており、スポーツ少年団などのスポーツ教育と同様に子ども達の健全育成の一環として相互に良い影響を及ぼしています。

これらの取り組みにより、子どもたちにとって「制作方法を教えてもらう」ことが主体ではなく「自ら手順などを論理的に考えること」が自然と身につくため、2020 年の改訂学習指導要領における「プログラミング教育」の先進的な取り組みとしても注目されています。



また、CoderDojo は、設立にあたり CoderDojo 財団 (アイルランド、以下「財団」) の登録・承諾を得て開設を行います。承諾自体は無償で行う等の「CoderDojo 憲章」への同意を行う程度の内容であり、宗教的性格等も一切ありません。登録後は、独立したコミュニティグループとして、各 Dojo にてルールを定め独立して運営を行います。

CoderDojo 光は、財団の承諾を得た山口県内で初めての Dojo となります。近隣では、紙屋町 (広島県)、五日市 (広島県)、海田 (広島県)、三次 (広島県)、呉 (広島県)、福山 (広島県)、吉賀 (島根県)、久留米 (福岡県)、福岡 (福岡県)、ももち (福岡県)、北九州 (福岡県) で開設されています。

なお、Dojo の開設情報については、CoderDojo および CoderDojo Japan のホームページにて掲載されています。

CoderDojo の取り組みは、国内各地の実際の教育現場でも注目されており、千葉県柏市などを中心として CoderDojo 関係者が教育委員会とのコラボにより子どもたちへの指導の支援を行うケースも増えてきました。当 CoderDojo 光においても、立ち上げ当初から光市教育委員会との連携を図りつつも独自に募集・活動を行う中で、周南地域を中心に、岩国市や防府市、山口市などの遠方からも参加があり、毎回定員いっぱいの子供達が参加し、また毎回同じ子供達だけではなくほとんどの回で初参加の子供達がいることは特筆すべき点と言えます。

地域コミュニティとしての性格を持つ新しいアプローチによるプログラミング教育のあり方については、今後ますます注目される傾向にあることが予想されると同時に、他の地域への展開も加速していくものと考えられます。

CoderDojo
<https://coderdojo.com/>

CoderDojo Japan
<https://coderdojo.jp/>

■無料で開催することについて

CoderDojo では、「自律的なコミュニティグループで、自主性を持って学ぶ若い世代を支援」することを理念として掲げており、同時に、「道場に参加する子ども達や、その保護者から料金を徴収しません」と宣言しています。これは、理念に沿った教育のあり方を追求すると同時に、子どもたちに貧富の差なく平等に学びの機会を与えることを大切にしているためです。従って、CoderDojo は無料・完全ボランティアで開催されており、子どもたちはもちろん、参加する子どもの保護者からも一切の料金を徴収してはならないこととされていることから、一般的表現として「無料」と表現しています。

これらの事情から、メンターに対しても無償（ボランティア）で協力いただくこととなっています。

なお、必要となる運営費（会場費等）については、スポンサーからの寄付や募金箱の設置、独自グッズの販売等により確保することが多いようです。ただし、募金箱を設置する場合にも、CoderDojo 憲章の趣旨に基づき、参加する子どもや保護者に対して強制されることがないよう、最大限の配慮が求められています。

CoderDojo 光においても、募金箱の設置、ならびにスポンサーの寄付により運営を行う計画としています。

CoderDojo 憲章

<https://coderdojo.jp/docs/charter>

■CoderDojo光の運営組織

CoderDojo 光は、CoderDojo 財団の認証により、CoderDojo 憲章に基づき自主的な運営を行っています。

- **チャンピオン**(=主宰者) 石川 博之
- **メンター** 10名(チャンピオンを含む)
※地元在住のシステムエンジニア、事務職、福祉職員等のボランティア
および学生(徳山高専、山口大学 ほか)

【CoderDojo(コーダー道場)】

2011年にアイルランドでジェームズ・ウェルトンとビル・リャオにより始まった子どものための無料プログラミングクラブ。日本では2012年4月に東京で初めて開催されて以降、現在は全国各地に約150の道場が開設され、定期的実施されている。山口県内では光市での開設・開催が初めて。

運営はボランティアで行われ、参加費も無料(参加者から一切の費用を徴収しない)となっている。

<https://coderdojo.com/>

<https://coderdojo.jp/>

【Dojo(道場)】

子どもたちがプログラミングで創作活動を行う場所のこと。

【Ninja(ニンジャ)】

CoderDojoに参加する子どもたちのこと。参加資格のある子どもはおおよそ7歳から17歳の子どもたち。

【Mentor(メンター)】

ニンジャの学びを支援する大人たちのこと。

【Champion(チャンピオン)】

各 CoderDojo 運営者。アイルランドの CoderDojo 財団の認証を受け CoderDojo 憲章を遵守し運営を行う。

【Scratch(スクラッチ)】

MITメディアラボが開発・公開した教育用プログラミング言語。

触覚や視覚的GUI(ユーザーインタフェース)により、子どもたちがプログラムの動作内容(コンディション)や動作結果(アクション)に関するブロックをドラッグ・アンド・ドロップなどのマウス操作や簡単なキーボード入力により、ゲーム感覚でプログラミングを行うことができる。

【Scratch Jr(スクラッチ ジュニア)】

MITメディアラボが開発・公開した教育用プログラミング言語。

Scratchの要素をもとに5歳から7歳の子ども達でも使えるよう要素を簡素化している。

【コワーキングスペース N LABO(エヌラボ)】

ホンダカーズ光東が運営するコミュニティスペース・コワーキングスペース・レンタルスペース。

事務所スペース、打合せ、会議室、女子会やママ友会など、複数の人が集まれる図書館のようなコミュニティスペースです。ビジネスでも遊びでも、イベントスペースとしてもご利用いただけます。

姉妹スペースのカフェ「N CAFÉ」(エヌカフェ)も盛況。

開設者はホンダカーズ光東ではありますが、ディーラー部門とは独立しており営業目的のスペースではありません。

- 団体名(イベント名): CoderDojo 光
- 主催: CoderDojo 光
- 協力: N LABO(株式会社ホンダカーズ光東)、株式会社ステラリンク、Project Linking、株式会社アイ・オー・データ機器
- 公式 URL: <http://coderdojo-hikari.com/>
- 公式 Facebook: <https://www.facebook.com/coderdojo.hikari/>
- 公式 Twitter: <https://twitter.com/CoderDojoHikari>

<リリースに関する問い合わせ先>

CoderDojo 光
(事務取扱:株式会社ステラリンク 内)
CoderDojo 光 Champion/担当:石川(いしかわ)
〒743-0065 山口県光市上島田 7-1-1
TEL:0833-77-0212 FAX:0833-77-0343
E-mail:info@coderdojo-hikari.com
URL:<http://coderdojo-hikari.com/>